

# そよかぜだより

## 2018 4月号

そよかぜ歯科医院のURL  
<http://soyokaze-dc.com>



### 四月(卯月)

待ちに待った春も本番、桜、桃、山吹、ミモザなど、ピンクや黄色の春色で街中華や季節となりました。気温も、二十度を超える日も増え、過ごしやすくなって来ましたね。四月になり、進学、就職、転職など、新生活をスタートした方も多いのではないのでしょうか。何かと変化の多い新生活を乗り切るためには、健康管理は大切になります。健康を保つためには、朝食をしっかり摂ることが大切だと思います。朝食をとることに伴い、生活リズムが整い、集中力や注意力が高まり、太りにくい身体づくりにも繋がります。朝ごはんをしっかりと食べて、元気な一日のスタートを切りましょう。

### 第三大臼歯の萌出と永久歯列の関与について

親知らず(おやしらす)とは、大臼歯の中で最も後ろに位置する歯であり、第三大臼歯が正式な名称あるいは、智歯(ちし)ともいいます。親知らずは中切歯(最前方の前歯)から数えて八番目にあり、永久歯の中で最後に発育します。永久歯は通常十四歳位で生え揃いますが、親知らずは十代後半から二十代前半位で生え、親に知られることなく生えてくる歯であることがその名前の由来とも言われています。親知らずは一般的には、左右上下の計4本ありますが、もともと親知らずの無い人や、必ずしも4本あるとは限りません。親知らずの生えてくる場所が不足している、あるいは萌出方向(生える方向)が通常と異なるために、埋まった状態だったり、傾いてきちんと生えてこないことがしばしば見られます。最初からない場合もあります。

普通に生えることが他の歯よりも少ない親知らずは、その周辺が汚れやすくなるため、前の大臼歯との間にむし歯ができたり、親知らず周囲の歯肉が腫れるなどの症状を持ちたりします。その結果、化膿性の炎症を起したり、嚢胞(膿や水泡を含んだ袋)を形成したりします。また、その生え方が悪ければ周囲の歯を移動したり、咬み合せが悪くなったり、顎が痛くなることもあります。

その場合の処置としてむし歯の処置、歯周炎処置、部分的な歯肉の切除、さらには抜歯といった外科的処置にまで波及することもあります。特に、快適な口腔環境を考えた場合には、問題となりやすい歯ではありません。



図 右下親知らずのレントゲン像

### ゴールデンウィークのお知らせ

4月30日・5月3・4・5・6日は、休診とさせていただきます。ご了承ください。



※緊急の場合は、流山市休日診療室へ お願い致します。 診療時間：9時～12時  
TEL 04-7155-3456

### 院長より

桜の季節も過ぎ、暖かい日が続いております。今年は花粉の飛散量がかなり多いようです。そのため、花粉症の症状を示す方が多いだけではなく、症状が重かったり、お薬が効かない方も少なくないようです。鼻を洗ったり、空気清浄機を多用したり、極力外出を慎むことなどの対策が必要とされます。

そのほか、春バテ症状を示す方も多いようです。春バテですが、寒暖差が激しい季節で心身とも疲れが貯まるため、5月病、9月病に似た症状が出るようです。自律神経系の疾患が続くと重篤になる可能性がありますのでご注意ください。これから暑くなったり、梅雨の時期を迎えると体調不良を訴える方が多くなります。初期症状としてお口の中の不調を訴える方も少なくありません。体調管理に留意してください。

### イースター



イースターは、イエス・キリストの復活を記念する日です。イースターエッグにはどんな意味があるのでしょうか。イースターエッグは、生命の始まりを象徴しています。イエス・キリストは、十字架上で、亡くなってから三日目に復活したとされています。ちょうどひよこが卵の殻を破って出てくるように、キリストも死という殻をやぶってよみがえったことを象徴しているのです。そのために、イースターの日には、イースターエッグを作りお祝いをしているのです。